



## 2020年4月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年6月11日

上場会社名 株式会社フロンティアインターナショナル 上場取引所 東  
 コード番号 7050 URL http://www.frontier-i.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河村 康宏  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 清水 紀年 TEL 03(5778)3500  
 定時株主総会開催予定日 2020年7月30日 配当支払開始予定日 2020年7月31日  
 有価証券報告書提出予定日 2020年7月31日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年4月期の連結業績（2019年5月1日～2020年4月30日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年4月期	13,118	2.6	1,285	14.1	1,288	15.5	825	0.8
2019年4月期	12,780	4.8	1,126	7.6	1,114	6.4	818	14.7

(注) 包括利益 2020年4月期 775百万円 (△13.7%) 2019年4月期 898百万円 (24.4%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年4月期	188.30	178.16	17.5	17.3	9.8
2019年4月期	195.80	182.46	21.3	16.7	8.8

(参考) 持分法投資損益 2020年4月期 -百万円 2019年4月期 -百万円

- (注) 1. 2019年4月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、当社株式が2019年2月28日に東京証券取引所マザーズへ上場したため、新規上場日から2019年4月期末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
2. 当社は、2018年12月18日開催の取締役会決議に基づき、2018年12月27日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。2019年4月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年4月期	7,231	4,976	68.8	1,106.24
2019年4月期	7,623	4,470	58.6	1,032.67

(参考) 自己資本 2020年4月期 4,976百万円 2019年4月期 4,470百万円

- (注) 当社は、2018年12月18日開催の取締役会決議に基づき、2018年12月27日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。2019年4月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年4月期	592	△190	△268	2,784
2019年4月期	1,577	△71	352	2,652

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年4月期	-	0.00	-	59.00	59.00	255	30.1	6.5
2020年4月期	-	0.00	-	39.00	39.00	175	20.7	3.6
2021年4月期 (予想)	-	-	-	-	-		-	

- (注) 1. 2019年4月期期末配当金の内訳 上場記念配当 20円  
 2. 2021年4月期の配当予想につきましては、未定としております。

3. 2021年4月期の連結業績予想（2020年5月1日～2021年4月30日）

業績予想につきましては、現段階で合理的な業績予想の算定を行うことが困難なことから未定とし、記載していません。今後、適切かつ合理的な予想が可能となった時点で速やかに公表いたします。なお、当該理由につきましては、添付資料3ページ「（4）今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年4月期:	4,553,000株	2019年4月期:	4,353,000株
② 期末自己株式数	2020年4月期:	54,300株	2019年4月期:	24,400株
③ 期中平均株式数	2020年4月期:	4,383,377株	2019年4月期:	4,181,135株

（注）1. 当社は、2018年12月18日開催の取締役会決議に基づき、2018年12月27日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。2019年4月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数（自己株式を含む）、期末自己株式数及び期中平均株式数を記載しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	P. 2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	P. 2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	P. 2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	P. 3
(4) 今後の見通し .....	P. 3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	P. 3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	P. 4
(1) 連結貸借対照表 .....	P. 4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	P. 6
連結損益計算書 .....	P. 6
連結包括利益計算書 .....	P. 7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	P. 8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	P. 10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	P. 11
(継続企業の前提に関する注記) .....	P. 11
(追加情報) .....	P. 11
(セグメント情報) .....	P. 11
(1株当たり情報) .....	P. 11
(重要な後発事象) .....	P. 11

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国の経済は、企業の設備投資拡大、底堅い個人消費等を背景として緩やかな回復基調にありましたが、年明け以降、新型コロナウイルスの感染が全世界で広がり、急激に世界経済が悪化した影響を受け、国内経済においてもその影響を大きく受ける状況となりました。

なお、2019年（1～12月）の日本の総広告費は、戦後最長といわれる景気拡大に伴って6兆9,381億円、前年比106.2%となり、8年連続で緩やかなプラス成長となりました（「2019年日本の広告費」株式会社電通調べ）。

このような中、当社グループの第1四半期から第3四半期にかけては、店頭販売支援事業を中心に、各事業が好調に推移致しました。しかし、第4四半期においては、新型コロナウイルス感染予防のためのイベント自粛及び外出自粛の影響を受ける結果となりました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は13,118百万円（前年同期比2.6%増）、売上総利益3,183百万円（同12.2%増）、営業利益1,285百万円（同14.1%増）、経常利益1,288百万円（同15.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益825百万円（同0.8%増）となりました。

なお、当社グループはプロモーション事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載は省略しております。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当連結会計年度末における資産合計は7,231百万円（前連結会計年度末7,623百万円）となり、前連結会計年度末と比較して391百万円減少しました。主な要因は、現金及び預金が220百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が810百万円減少したことによるものであります。

#### (負債)

当連結会計年度末における負債合計は2,255百万円（前連結会計年度末3,153百万円）となり、前連結会計年度末と比較して898百万円減少しました。主な要因は、未払費用が172百万円増加した一方で、買掛金が956百万円、未払法人税等が66百万円減少したことによるものであります。

#### (純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は4,976百万円（前連結会計年度末4,470百万円）となり、前連結会計年度末と比較して506百万円増加しました。主な要因は、親会社株主に帰属する当期純利益を825百万円計上したこと等により利益剰余金が569百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は68.8%（前連結会計年度末は58.6%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動による資金の増加592百万円、投資活動による資金の減少190百万円、財務活動による資金の減少268百万円などにより、前連結会計年度末と比較して131百万円増加し、2,784百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における営業活動による資金の増加は、592百万円（前連結会計年度は1,577百万円の増加）となりました。主な要因は、仕入債務の減少額956百万円、法人税等の支払額521百万円による資金の減少があった一方で、税金等調整前当期純利益1,259百万円、売掛債権の減少額808百万円による資金の増加があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における投資活動による資金の減少は、190百万円（前連結会計年度は71百万円の減少）となりました。主な要因は、定期預金の純増加額90百万円、敷金及び保証金の差入による支出105百万円による資金の減少があったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における財務活動による資金の減少は、268百万円（前連結会計年度は352百万円の増加）となりました。主な要因は、配当金の支払による支出255百万円による資金の減少があったことによるものです。

(4) 今後の見通し

新型コロナウイルスの感染拡大の影響は、日本においては緊急事態宣言が解除されたものの、諸外国では未だに不透明感が漂っており、日本においても第2波に対する懸念は払拭されておられません。

このような中で、今後のイベントや種々のプロモーションの実施を見通すことは困難であり、適正かつ合理的な業績予想の算出が困難な状況であります。このため、業績予想を未定としております。今後、適正かつ合理的な業績予想が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を採用しております。

なお、国際財務報告基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年4月30日)	当連結会計年度 (2020年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,468,067	3,688,774
受取手形及び売掛金	3,077,167	2,267,154
未成業務支出金	106,998	67,096
その他	132,218	229,535
貸倒引当金	△4,859	△633
流動資産合計	6,779,591	6,251,927
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	48,974	90,507
工具、器具及び備品（純額）	3,283	1,885
土地	4,069	4,069
その他	—	23,754
有形固定資産合計	56,327	120,216
無形固定資産		
ソフトウェア	510	1,702
その他	413	383
無形固定資産合計	924	2,086
投資その他の資産		
投資有価証券	226,726	143,922
敷金及び保証金	198,180	303,164
繰延税金資産	179,663	226,753
その他	212,689	214,345
貸倒引当金	△30,665	△30,665
投資その他の資産合計	786,593	857,520
固定資産合計	843,845	979,823
資産合計	7,623,437	7,231,750

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2019年4月30日)	当連結会計年度 (2020年4月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,918,993	962,557
未払費用	223,199	395,912
未払法人税等	292,695	226,007
未成業務受入金	17,710	20,777
関係会社清算損失引当金	-	14,531
その他	384,164	266,235
流動負債合計	2,836,763	1,886,020
固定負債		
役員退職慰労引当金	185,400	196,799
退職給付に係る負債	100,865	102,033
資産除去債務	30,399	70,271
固定負債合計	316,664	369,104
負債合計	3,153,427	2,255,125
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,675	46,675
資本剰余金	360,191	373,191
利益剰余金	3,982,724	4,552,706
自己株式	△6,724	△45,826
株主資本合計	4,369,866	4,926,746
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	98,868	50,139
為替換算調整勘定	1,274	△260
その他の包括利益累計額合計	100,143	49,878
純資産合計	4,470,009	4,976,624
負債純資産合計	7,623,437	7,231,750

（2）連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
（連結損益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2018年5月1日 至 2019年4月30日）	当連結会計年度 （自 2019年5月1日 至 2020年4月30日）
売上高	12,780,780	13,118,825
売上原価	9,942,695	9,935,523
売上総利益	2,838,085	3,183,301
販売費及び一般管理費	1,711,680	1,898,136
営業利益	1,126,404	1,285,165
営業外収益		
受取利息	568	260
受取配当金	762	2,531
経営指導料	1,166	1,058
その他	3,274	1,740
営業外収益合計	5,772	5,591
営業外費用		
支払利息	4	—
売上債権売却損	1,850	1,383
為替差損	775	730
株式公開費用	8,001	—
貸倒損失	6,724	—
その他	16	576
営業外費用合計	17,372	2,690
経常利益	1,114,804	1,288,065
特別利益		
投資有価証券売却益	29,092	—
特別利益合計	29,092	—
特別損失		
固定資産除却損	—	7,029
関係会社清算損	—	20,309
投資有価証券売却損	—	1,698
特別損失合計	—	29,037
税金等調整前当期純利益	1,143,896	1,259,028
法人税、住民税及び事業税	443,524	454,980
法人税等調整額	△118,310	△21,321
法人税等合計	325,214	433,658
当期純利益	818,682	825,369
親会社株主に帰属する当期純利益	818,682	825,369



(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)	当連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)
当期純利益	818,682	825,369
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	79,556	△48,729
為替換算調整勘定	△134	△1,535
その他の包括利益合計	79,421	△50,264
包括利益	898,104	775,104
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	898,104	775,104

（3）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2018年5月1日 至 2019年4月30日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	33,675	23,675	3,190,997	△56,775	3,191,572
当期変動額					
剰余金の配当			△26,955		△26,955
親会社株主に帰属する 当期純利益			818,682		818,682
自己株式の処分		336,516		50,050	386,566
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	336,516	791,727	50,050	1,178,293
当期末残高	33,675	360,191	3,982,724	△6,724	4,369,866

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額 合計	
当期首残高	19,311	1,409	20,721	3,212,293
当期変動額				
剰余金の配当				△26,955
親会社株主に帰属する 当期純利益				818,682
自己株式の処分				386,566
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	79,556	△134	79,421	79,421
当期変動額合計	79,556	△134	79,421	1,257,715
当期末残高	98,868	1,274	100,143	4,470,009

当連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	33,675	360,191	3,982,724	△6,724	4,369,866
当期変動額					
新株の発行 (新株予約権の行使)	13,000	13,000			26,000
剰余金の配当			△255,387		△255,387
親会社株主に帰属する 当期純利益			825,369		825,369
自己株式の取得				△39,101	△39,101
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	13,000	13,000	569,982	△39,101	556,880
当期末残高	46,675	373,191	4,552,706	△45,826	4,926,746

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額 合計	
当期首残高	98,868	1,274	100,143	4,470,009
当期変動額				
新株の発行 (新株予約権の行使)				26,000
剰余金の配当				△255,387
親会社株主に帰属する 当期純利益				825,369
自己株式の取得				△39,101
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	△48,729	△1,535	△50,264	△50,264
当期変動額合計	△48,729	△1,535	△50,264	506,617
当期末残高	50,139	△260	49,878	4,976,624

（4）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2018年 5月 1日 至 2019年 4月 30日）	当連結会計年度 （自 2019年 5月 1日 至 2020年 4月 30日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,143,896	1,259,028
減価償却費	7,655	9,193
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△4,026	△4,225
受取利息及び受取配当金	△1,330	△2,792
支払利息	4	—
売上債権売却損	1,850	1,383
株式公開費用	8,001	—
貸倒損失	6,724	—
投資有価証券売却損益（△は益）	△29,092	1,698
関係会社清算損益（△は益）	—	20,309
固定資産除却損	—	7,029
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	16,282	1,168
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	11,100	11,399
売上債権の増減額（△は増加）	288,029	808,629
たな卸資産の増減額（△は増加）	△35,498	39,901
未成業務受入金の増減額（△は減少）	333	3,066
仕入債務の増減額（△は減少）	395,728	△956,436
その他の流動資産の増減額（△は増加）	△1,883	△96,790
その他の流動負債の増減額（△は減少）	36,051	8,943
小計	1,843,825	1,111,507
利息及び配当金の受取額	1,519	2,792
利息の支払額	△4	—
法人税等の支払額	△267,440	△521,668
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,577,898	592,631
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額（△は増加）	△93,667	△90,675
有形固定資産の取得による支出	△9,201	—
無形固定資産の取得による支出	—	△1,593
投資有価証券の取得による支出	△54,570	—
投資有価証券の売却による収入	80,106	6,672
敷金及び保証金の差入による支出	△93	△105,194
敷金及び保証金の回収による収入	2,575	—
その他	3,000	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△71,851	△190,791
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	26,000
自己株式の取得による支出	—	△39,326
自己株式の処分による収入	386,566	—
配当金の支払額	△26,955	△255,073
その他	△7,572	△428
財務活動によるキャッシュ・フロー	352,038	△268,828
現金及び現金同等物に係る換算差額	△126	△1,478
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,857,958	131,533
現金及び現金同等物の期首残高	794,992	2,652,951
現金及び現金同等物の期末残高	2,652,951	2,784,485

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

現時点において、新型コロナウイルス感染症の影響については、イベントの自粛要請や延期が発生し、今後も様々な影響が顕在化することが懸念され、将来的な広がり方や収束時期を正確に予想することは困難な状況にありますが、外部の情報源に基づく情報等を踏まえて、2021年4月期に当該影響が継続するとの仮定のもと会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報)

当社グループは、プロモーション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)	当連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)
1株当たり純資産額	1,032.67円	1,106.24円
1株当たり当期純利益	195.80円	188.30円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	182.46円	178.16円

- (注) 1. 当社は、2018年12月18日開催の当社取締役会の決議に基づき、2018年12月27日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。
2. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、当社株式が2019年2月28日に東京証券取引所マザーズへ上場したため、新規上場日から前連結会計年度末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
3. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)	当連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	818,682	825,369
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	818,682	825,369
普通株式の期中平均株式数(株)	4,181,135	4,383,377
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (千円)	—	—
普通株式増加数(株)	305,792	249,344
(うち新株予約権)(株)	(305,792)	(249,344)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。